

～ノンクラスプデンチャー臨床実績12年、1,080床<sup>※</sup>を超えるDr.からの最新臨床報告～

※2019年6月現在

ポリアミド樹脂による

ノンクラスプ義歯セミナーの決定版！ 2019年最新版

# ノンクラスプデンチャーの臨床応用 Vol. 30

日本国内にノンクラスプデンチャーが普及し始めて10年以上経ちますが、医学的エビデンスが無く、長期症例報告なども殆ど無いのが現状です。既に臨床導入されている先生方、また今後予定されている先生方も、患者様からの審美的なニーズはあるものの補綴物として本当に問題ないのか、残存歯や顎堤への影響は、経年経過はどうなのか、耐久性を含め患者に勧めていいものなのか、など様々な疑問点がありませんか？ そこで今回私どもが少しでも先生方のお力になればと、ノンクラスプデンチャーを臨床導入して12年、現在までに1,080床という驚異的な実績を出されている、岡山市ご開業、吉崎元彦先生のセミナーを開催することになりました。ノンクラスプ義歯臨床ケースの長期症例報告は勿論、様々なトラブル対処法、患者さんへの紹介方法まで、ノンクラスプデンチャーセミナーの決定版です。



**日時** 2019年 9月 1日(日)  
10:00～13:00  
(受付9:30～10:00)

**会場** 広島YMCA国際文化センター 2号館  
(地階 コンベンションホール)

**定員** 50名 (対象: 歯科医師、医院スタッフ)

**費用** 歯科医師 2,000円(税込)

※医院スタッフ様(歯科衛生士・助手・受付他)は無料

## ノンクラスプデンチャーに

こんな感想をお持ちの先生方におすすめ致します

- ◆ ニーズはあるが、あまり良いイメージを持っていない
- ◆ 素材のたわみは問題ないのか？ 鉤歯への負担も不安
- ◆ 院内での修理が出来ないので患者さんに勧めにくい
- ◆ 維持腕(樹脂アーム)のゆるみに悩んでいる
- ◆ 耐久性を考えると自費として勧めるのに躊躇してしまう
- ◆ 患者さんにどう説明したらそんなに成約できるのか？



### ■ 吉崎 元彦先生

- ・昭和52年 大阪歯科大学卒業
- ・昭和52年 岡山大学医学部附属病院  
口腔外科勤務
- ・昭和55年 吉崎歯科診療所勤務
- ・平成18年 医療法人 吉崎歯科  
理事長就任

疑問を持たれている方もおられると思います。またポリアミド樹脂は弾性樹脂である為、従来の義歯とコンセプトが大きく異なり、設計や取り扱いに違いが生じてきます。幸い愛歯さんの協力の下で12年間に1,000症例以上経験することができ良好な結果を得ています。ノンクラスプデンチャーの適応範囲や調整のポイント、修理やリベースの必要性が生じて来た時の対応の仕方等を説明させて頂きたいと思います。また今の保険制度では今後も経営的な厳しさは増していきますが、この初期投資が殆ど要らないノンクラスプデンチャーの導入は収入増に大きく繋がると考えられます。実際当医院でも減収傾向にあったのが増収に転じています。このノンクラスプデンチャーを増やしていくコツ等も併せてお話ししたいと思います。

ごあいさつ

我々歯科医師にとって部分床義歯にクラスプが付属するのは当たり前の事と思ってきましたが、新素材の開発によりクラスプのない義歯が出来るようになり臨床に普及しつつあるようです。これは部分床義歯の歴史から見て革新的な事と思われそうですが何分その歴史は浅く、また臨床報告もあまり目にする事もないため本当に使い物になるのかと

吉崎 元彦

お申込み・お問い合わせ

別紙申込用紙にご記入頂き、FAX、TEL、またはHPからお申込み下さい。

【株式会社 愛歯 広島営業所】

TEL 082-503-5839

FAX 082-503-5841



<http://www.aishi.jp/seminar/>

愛歯

検索

Facebookもチェック  
【歯科技工所 | 株式会社 愛歯】

AISHI  
DENTAL LABORATORY